

保護者の皆様

竜王小学校
校長 山本 照代

令和5年度 学校評価のご報告について

向春の候、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろは、本校教育に格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月に学校評価アンケートを実施させていただきました。3～6年生の全児童、全保護者の皆様の結果についてまとめましたので、お知らせします。

保護者アンケートの回収率は、約73%でした。多くの保護者の皆様にご協力をいただき、大変ありがとうございました。

全体的な傾向として、児童、保護者様とも多くの項目で肯定的な回答がほぼ8割以上の評価を頂きました。

しかし、個々の項目を見ていきますと、肯定的な評価が昨年度より下がっている項目や8割に満たない項目もありました。

こうした結果を様々な角度から分析、検討することで、来年度の学校改善につなげ、子どもたちの健やかな成長につなげていけるよう全力を尽くしたいと考えています。

保護者の皆様におかれましては、今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

※表内の数値は人数、グラフ内の数値は%

A:よくあてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:全くあてはまらない

1	学校目標や学級目標をめざしている。	児童	R4	49	41	10	1
			R5	37	48	13	2
1	学校や子どもは、学校目標の実現に向けて努力している。	保護者	R4	19	68	12	2
			R5	13	77	9	1

項目① 今年も「かんがえよう・たすけあおう・やってみよう」を合言葉として、学校目標の実現に向けて様々な取組を進めてきました。学年の初めには児童に向けて担任から、子どもたちに目標やめあてを持たせて、日々の学習に取り組んできました。特に運動会、竜小まつり、各学年の校外学習・体験活動などには子どもたちが楽しみながらも目標を持つことでより一生懸命に取り組む姿が見られました。学習指導要領のねらいを見据え、引き続き子どもたちが夢や目標をもって学校生活を送れるよう意識し、努力する姿勢を育てていきます。

2	学校に行くのが楽しい。	児童	R4	49	36	11	4
			R5	38	40	19	3
2	子どもは楽しく学校に通っている。	保護者	R4	43	47	9	1
			R5	43	47	9	1

項目② 前年度に比べ、特に児童の肯定的な評価は少し下がっています。このことを重く受け止め、子どもたちの様子や言葉に耳を傾けながら、子どもたちの気持ちをしっかりと受け止め、今後も学級づくりを核として、「認めあい・高めあう集団づくり」に向け取組を進めていきます。特に、いじめを見逃さず、どんな些細なことにも注意を払いながら、どの子も楽しく学校生活を送れるよう授業や行事を通して学級集団づくりについて力を入れて参ります。また、学級や友だちの問題を自分ならどうするか、学級会を開いて話し合い、民主的な集団づくりをこれからも行っていきます。

3	授業が楽しい。	児童	R4	41	43	13	3
			R5	27	51	18	4
3	子どもは授業が楽しいと言っている。(R4)	保護者	R4	26	49	24	2
	子どもは授業が分かりやすいと言っている。(R5)		R5	14	64	21	1

項目③ 課題設定を工夫し、子どもたちが学習の授業のゴールイメージを持ちながら、「できた」、「わかった」、「使ってみたい」と感じる授業になるよう研究を重ねてきました。しかし、「学習することの楽しさ」にはまだ十分つながっていない様子が見られました。学んだことが生かせることを十分に体験することによって、子どもが自分自身のめあてをもち、より主体的・対話的に深く学ぼうとする意欲につながる授業を目指し、今後も研究と授業改善に図り取り組んでいきます。

4	先生は授業を分かりやすく教えてくれている。	児童	R4	62	31	5	2
			R5	73	23	3	1

項目④ 今年度も授業や学習に集中して取り組むための学習規律を大切にしながら、「め・じ・と・ま・ふ」(どの教科の授業においても、「め」…めあてを持ち、まずは課題を「じ」…自分の力で解き、「と」…友達と交流する中で考えを深め、学習の「ま」…まとめをし、その時間の学習を「ふ」…振り返るという一連の流れ)を大切にしてきました。子どもたちが見通しを持って授業にのぞみ、まとめ、ふりかえりの視点ははっきりさせた授業を行っています。また、3年生以上の算数科においては、今年度も少人数での指導を行い、どの子にも「わかる授業」をめざしてきました。今後も引き続き、子どもたちの「わかった、できた」につながるよう取り組んでいきます。

6	宿題や予習復習など家庭学習をがんばっている。	児童	R4	48	37	12	2
			R5	47	35	16	2
4	子どもは宿題や予習復習など家庭学習をがんばっている。	保護者	R4	26	47	23	5
			R5	19	54	24	3

項目⑤ 多くの子どもたちが家で学校の宿題をきちんとすることができています。しかし、自分で計画を立てて勉強したり、授業の予習・復習に取り組んだりする習慣が弱い面もありました。スクリーンタイム(テレビやゲーム、スマホなどの使用時間)はかなり長時間使っている様子も見られます。ご家庭で使い方のルールを話し合っただき、よりよい習慣が付くよう声かけをお願いします。学校においても家庭学習と授業の往還について研究を深め、子どもたちが意欲的に取り組めるよう考えていきます。

7	先生は思いやりの大切さ、いじめはゆるせないことなどについて教えてくれている。	児童	R4	81	16	2	
			R5	71	23	1	
5	子どもは思いやりの大切さ、いじめは絶対ゆるせないこととして行動している。	保護者	R4	44	49	7	1
			R5	41	56	13	0

項目⑥ 毎学期行う「心のアンケート」、毎月11日を「人権を確かめ合う日」の啓発放送、各学級での人権に関わる授業の実施、縦割り活動等において、思いやりの心の大切さやいじめは許せないことなど、道徳や教育活動全体を通して、豊かな心を育む指導を重ねています。今後も引き続き集団づくりを核に据えた取組を継続しつつ、集団を構成する子どもたち一人ひとりの思いにも十分耳を傾けながら指導を進めていきます。

8	学習活動で学校支援ボランティアやゲストティーチャーの人たちに教えてもらったり手伝ってもらったりすることは、うれしい。	児童	R4	76	20	4	
			R5	67	28	5	
6	学校は保護者や地域、学校支援ボランティア、学校運営協議会の方々と連携し、開かれた学校づくりに努めている。	保護者	R4	31	59	8	1
			R5	22	67	10	1

項目⑦ 今年度も「コミュニティ・スクール竜王小学校」学校運営協議会や地域学校協働本部の皆様、学級園の耕作や植付け指導、読み聞かせ、マラソン大会の安全補助等、多大な支援や協力をしていただいています。また、「はなまる先生」の取組も継続し、ドリルやプリント等の答え合わせをお願いしており、その分の時間を教員と児童の交流にあてています。他にもゲストティーチャーによる出前授業や施設の訪問等を取り入れてきました。地域の様々な企業様にもお力添えをいただき、地域に開かれた教育課程の実現を目指しています。

9	学校は、読み聞かせや読書タイムなど、本に親しむ機会を多く作ってくれている。	児童	R4	62	27	8	2
			R5	43	39	15	3
7	子どもは、日頃から読書に親しんでいる。	保護者	R4	17	44	32	7
			R5	10	28	44	17

項目⑧ 毎木曜日の朝読書、読書ボランティア「たんぽぽ」さんや学校ボランティアさんによる読み聞かせ、図書室を活用した読書タイム、町立図書館からの出前図書など様々な機会を利用しながら本に親しむ時間を設けています。授業でも図書室を活用するような活動を取り入れる等工夫しています。今後も町立図書館とも連携をとり、児童が魅力を感じる読書活動の充実に努めますので、ご家庭でもファミリー読書等を活用し積極的に推進して下さるようお願いいたします。

11	先生は、決まりを守ることの大切さや正しい行動のしかたなどを教えてくれている。	児童	R4	76	21	2
			R5	68	29	2
9	子どもは決まりを守り、正しい行動をとろうとしている。	保護者	R4	40	51	8
			R5	29	61	10

項目⑩ 児童の肯定的な評価は9割を超えるなど、決まりを守ることや正しい行動をとることに対する意識の高さがうかがえます。学校でも道徳や学級活動などの時間や日常生活の中で指導していますが、それ以上に地域・家庭での日頃の教育力の高さの表れだと感じています。本当にありがとうございます。学校では今後も道徳の時間に心を耕し、規範意識を高め、特別活動等を通して行動力を培い、よりよい生き方を求める学校生活になるよう力を入れていきます。

12	先生は、相談ごとやなやみごとがあったときに、話を聞いてくれる。	児童	R4	71	22	5
			R5	51	35	13
10	子どものことについて、学校と相談しやすい。	保護者	R4	25	51	21
			R5	17	61	18

項目⑪ できる限り子どもとの向き合う時間を増やし、生活アンケートを実施したり、教育相談期間を設けたりして、一人ひとり子どもに耳を傾けてきました。また、特に良好な関係を構築するため、「お話聞いて週間」を実施し、相談できる時間を確保してきました。しかしながら、児童の肯定的な評価が下がっています。このことを重く受け止め、子どもたちが日常的に教職員に話しかけやすい雰囲気づくりを重視し、さらに安心して過ごせる学級づくりを目指します。そして、温かい見守りと適切な支援ができるように保護者の皆さまと良好な関係が築けるように教育相談体制の充実に一層取り組みます。保護者の皆様についても、月一回ではありますが、教育相談日を設定していますので、お気軽にご活用ください。

13	先生は、交通事故や災害、不審者などにどう対応したらよいか教えてくれている。	児童	R4	69	25	4
			R5	54	31	10
11	学校は安全安心に配慮している。(登下校・避難訓練等)	保護者	R4	28	56	13
			R5	20	70	10

項目⑫ 登下校については、保護者の皆様や特に字委員様のご協力を得ながら様々な課題に対応しています。また、記録ファイルをもとにしながら、毎週1回、担当の教員と子どもたちが登下校について話し合う機会を設けています。そしてスクールガードの皆様と連携を取っていただきながら、安心して安全な登下校になるよう、ご理解とご協力をお願いします。新型コロナウイルス感染症は第5類に移行しましたが、インフルエンザ等も含め感染症の予防に努めてまいりました。工夫して行事を実施してきたことで、子どもたちは行事を楽しみながら行事を通して成長しています。また、火災、不審者、地震等に係る避難訓練については、継続して実施していきます。

12	学校生活の様子や学習内容が、参観、懇談、通信、ホームページなどでよく知ることができる。	保護者	R4	29	58	12
			R5	22	65	12

項目⑬ 今年度は授業参観や運動会等の人数の制限をなくし実施してきました。ホームページについては、「竜小日記」と題したブログを可能な限り更新し、子どもたちの様子をお伝えしてきました。学校行事も年間を通じてご覧いただけますのでご活用ください。その他、学校だより、学年・学級通信などを通じて、学校生活の様子や学習内容をお伝えしています。ホームページへアクセスへは、学校だよりのQRコードから読み取っていただくか、次のサイトからご覧ください。なお、「竜小日記」には、メニューバーからお入りください。

<https://ryuo-es.wixsite.com/ryuo-es>

学校HP



13	子どもの学校生活を参観する機会(学習公開・行事)の回数は適当である。	保護者	R4	35	53	12
			R5	26	64	9

項目⑭ 様々な学習の様子や学校の教育活動をご参観いただく機会を可能な限り持ってきました。お忙しい中とは思いますが、お子様の成長の様子を見ていただき、ご家庭で日ごろの学校での様子について親子で話し合う機会としていただければと思います。

14	テレビやゲーム、スマートフォンの使用時間を子どもと話している。	保護者	R4	15	45	36	4
			R5	16	55	23	6

項目⑮ 子どもたちは、スマホやタブレットを長時間使用している実態があります。テレビやスマホ、タブレットの視聴時間やゲームをするスクリーンタイムについて、時間を決めたり、時間を短くするよう学校でも指導、啓発を進めています。加えて、今年度も外部講師等による全学年を通じたスマホやインターネットの危険性や正しい使い方について学習をしています。ご家庭でも使用時間等についてお子様とお話しして下さっている割合が前年度より増えたことをありがたく思います。今後もご家庭でもお子さんと話し合って適切なルールを決めていただきますよう重ねてお願いいたします。

10	R5新設問 先生は、タブレットを使った学習をして	児童	R5	34	40	21	6
----	-----------------------------	----	----	----	----	----	---

項目⑯ 学習が早く終わった時や自習の時間にタブレットを使ってドリル学習に取り組んだり、インターネットを使って調べ学習をしたりしています。また、写真や動画を撮影し繰り返し再生したり、学級閉鎖時にオンライン学習を行ったりと活用の幅を広げてきました。より効果的な学習への活用をめざして、研修や研究を進めていきたいと考えています。

8	R5 子どもは、外国語(英語)に興味を持	保護者	R4	23	43	29	6
			R5	14	41	39	5

項目⑰ 外国語(英語)の時間にはリズムに乗って英語のチャンツを歌ったり、友達同士で英語で質問したり答えたりするコミュニケーション力を育てています。休み時間にはALTの教員と楽しく会話する姿も多く見られます。また、ネイティブとのオンライン英会話にも取り組んでいます。自分の考えを外国語を使って表現することを中心にして、今後も学習に取り組んでまいります。

5	竜王チャレンジタイム(竜チャレ)をがんばって取り組んでいる。	児童	R4	68	22	8	2
			R5	61	29	7	2
15	竜王チャレンジタイム(音読・百マス計算・漢字)の取り組みは子どもの基礎学力の定着に効果的である。	保護者	R4	43	47	10	0
			R5	32	57	10	0

項目⑱ 竜王チャレンジタイムは、朝から元気の良い音読の声が教室に響きわたり、百ます計算や漢字の学習では鉛筆の音がコツコツと響く中、どの子どもが集中して取り組む姿がすっかり定着しています。集中力を高め、基礎学力の定着を目指して取り組んでおり、成果としては漢字を素早く覚えられるようになったり、集中して学習に取り組んだり、一人ひとりが自分の力を伸ばしています。全国学力学習状況調査においても成果を上げています。しかし、竜チャレをすること自体がややマンネリ化している面も見られます。がんばって取り組んだことが確実に自分の力になっていることを感じられる評価を工夫し、より意欲をもって取り組めるようにしていきたいと思ひます。ご家庭でも竜チャレの様子について聞いていただき、励まし声かけをよろしくお願い申し上げます。

保護者の皆様からは、たくさんのご意見や励ましのお言葉をいただきました。ありがとうございました。
今年度は、感染症拡大防止のための取り組みは継続させつつ、学校行事等の制限を外し子どもたちの教育活動がよりよいものとなるよう取り組んで参りました。

なお、お困りのことやご質問等があればお気軽に学校までご連絡いただき、ともに解決を図っていきたく考えています。今後とも保護者の皆様のご理解とご協力についてよろしくお願い申しあげ、学校評価へのご協力についてのお礼とさせていただきます。